

第20回 日本小児心身医学会

東海北陸地方会

テーマ

子どもの心身の発達と性

大会長

小林 穂高 (名張市立病院小児科)



イラスト協力：ワークプレイス葉

内容

教育講演

「発達障害とセクシュアリティ教育」

吉野 智子先生 (早稲田大学スチューデントダイバーシティセンター、
障がい学生支援室 発達障がい 学生支援部門)

特別講演

「なぜ男性には性的エラーが多いのか(女性は?)～性行為における男基準の彼岸～」

小栗 正幸先生 (特別支援教育ネット代表)

大会企画 (会長講演に代えて) 「チーム名張の多職種で GO !」

日時

2023年3月5日 10:00～16:30 (予定)

演題募集・参加募集は 2022 年 12 月 1 日からです

会場

完全オンライン開催 (Zoom)

参加費

東海北陸地方会会員 ▶ 1000 円 同非会員 ▶ 2000 円

※守秘義務のある支援職の方

第20回日本小児心身医学会
東海北陸地方会事務局

担当：小林穂高、平野甫
E-mail : th20nabari@outlook.jp



ごあいさつ

大会長 小林 穂高

名張市立病院 副診療部長（小児科）
関西医科大学 地域小児医療支援講座

このたび、第20回日本小児心身医学会東海北陸地方会を開催させていただくことになりました。本学会は対面式ではなく、安心してご自宅からご参加いただけるようにオンライン開催とさせていただきます。

このたびの大会のテーマを「子どもの心身の発達と性」としました。性にまつわる子どもたちの発達は、他の発達と同様に喜ばしいことです。しかし一方で、私たち大人は、性について子どもに教えることにとまどい、あるいは躊躇します。子どもの性に関するあれやこれやの言動にハラハラし、また頭を悩ませることもしばしばあるのではないのでしょうか。そんな「子どもの心身の発達と性」について、みなさまと学ぶ貴重な機会を準備して参ります。



教育講演は、早稲田大学において発達障害をもつ学生さんの支援業務に関われ、セクシュアリティ教育を実践されてきた吉野智子先生から「発達障害とセクシュアリティ教育」というテーマでお話しいただきます。私は「いつか吉野先生のお話をこの学会で！」と思っておりましたので楽しみです。



吉野智子先生



小栗正幸先生

特別講演は、法務技官として少年鑑別所や成人矯正施設、宮川医療少年院長を経て退官されてからも、地域や職種を越えてご活躍されている小栗正幸先生のご登壇です。子どもたちが出してくる性にまつわるさまざまな「エラー」に対して、私たちが関わっていく上で、とても実践的なヒントをいただけることでしょう。



【参加申し込み期間】2022年12月1日（木）～2023年2月24日（金）13:00まで

【参加資格】日本小児心身医学会の会員及び医療・心理・教育・療育・福祉・行政関係（守秘義務ある）の非会員の方もご参加いただけます。

【一般演題の募集】音声付き動画データによる発表を10題程度募集いたします。

【演題応募期間】2022年12月1日（木）～2023年1月23日（月）13:00
（一次抄録（400字）締切）

【参加申し込み・演題応募先】第20回日本小児心身医学会東海北陸地方会事務局

E-mail: th20nabari@outlook.jp